研究課題番号	5-2004
研究課題名	国際民間航空機関の規制に対応した航空機排出粒子状物質の健康リスク評価と対策提案
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	東京都立大学
研究代表者名	竹川 暢之

1. 委員の指摘及び提言概要

航空機に起因する超微粒子（UFP）の特性や環境挙動の解析、さらには環境リスク評価までを総合的に実施した研究であり、行政的にも意義深い研究と判断された。ただし、日本の飛行場周辺では、航空機以外の影響も存在するはずで、リスク評価の部分は一層の検討が必要とも判断された。例えば、リスク評価の手法や曝露条件を明確にし、エンドポイントごとの曝露リスクの明示、海外の同様の数値、評価結果があればその比較の提示、リスク算定結果の妥当性について丁寧かつ分かり易く説明していただければよかったと思われる。今後重要なのは本研究の有益な成果をどのように UFP に関する規制に結びつけるかであろう。

2. 採点結果

評価ランク：A